

第一次大戦前夜の国際関係

☆独の3B政策：トルコに¹_____鉄道を建設(98-)、大海軍を建造(00-)。

04-05 日露戦争：朝鮮進出を封じられた露はバルカン半島に転じ、独との対立が再燃。

04 英仏協商：英の²_____支配権と、仏の³_____支配権を相互承認。

07 英露協商：英の⁴_____支配権と、英・露による⁵_____の分割。

⇒英の秘密外交による対独包囲網（三国協商）の完成。

☆モロッコ事件：仏のモロッコ侵入に独が抗議。独・仏開戦の危機。

05 独皇帝ヴィルヘルム2世の⁶_____上陸（第1次モロッコ事件）。

06 ⁷_____会議：英・仏の結束で独は譲歩。モロッコは仏・西の勢力圏に。

11 独軍艦の⁸_____入港（第2次モロッコ事件）。独は結局、譲歩。

☆バルカン危機：⁹_____革命(08)の混乱で“ヨーロッパの火薬庫”となる。

¹²_____主義：独・墺の主張。

¹⁰_____主義：露の主張。

08 墺が¹³_____・_____併合。

08 ¹¹_____独立宣言：露の支持。

11 伊土戦争：オスマン帝国敗北。

14 _____の対墺感情が悪化。

⇒伊がリビア（¹⁵_____・_____）を併合。（⇒仏・伊関係が好転）注1

12 アルバニア独立宣言：墺が支持。

⇒アルバニア人の反セルビア感情を利用。

12- バルカン同盟：反墺・反オスマン同盟。

: ¹⁶_____・_____・_____の4国。

12 第1次バルカン戦争：¹⁷_____がバルカン同盟に大敗、欧州領土を失う。

⇒占領地マケドニアの領有をめぐって同盟各国が対立。

13 第2次バルカン戦争：¹¹_____が各国に包囲され、領土を奪われる。

⇒敗れた¹⁷_____・¹¹_____は独・墺に接近。大戦では同盟国側につく。

☆国際反戦運動：世界大戦を回避する最後の試み。

①¹⁸_____会議

: 露皇帝¹⁹_____の提唱で開催(99.07)。

⇒国際仲裁裁判所の設置(01)。軍縮には、独が反対。

⇒戦時国際法（ハーグ陸戦法規）の整備。

②作家・文化人の運動：人道主義に基づく反戦思想。

⇒露トルストイ、²⁰_____らの訴え。

③²¹_____の反戦決議(12 バーゼル大会)

⇒開戦後、階級闘争を停止（城内平和）、戦争に協力。



注1 リビアを得たイタリアは、仏からのチュニジア奪回を断念した。
仏伊関係の好転は、イタリアの協商側への接近につながった。

第一次世界大戦

①戦争の拡大。

1914. 6. 28 ¹ _____ 事件：セルビア人が奥皇位継承者フランツ=フェルディナント大公夫妻を暗殺。

⇒ 奥が² _____ に宣戦⇒ 露がセルビア支援のため軍を動員⇒ 独が露・仏に宣戦。

⇒ 独軍、³ _____ の中立侵犯（シュリーフェン作戦）⇒ ⁴ _____ が独に宣戦。

14. 8月 ⁵ _____ の戦い：独のヒンデンブルク将軍が露軍を撃退⇒ 東部戦線の形成。

9月 ⁶ _____ の戦い：独軍、パリ攻略に失敗、北仏で戦線膠着⇒ ^{こうちゃく}西部戦線の形成。

☆連合国（協商国）	☆同盟国
⁷ _____ ・ _____ ・ _____ ・ セルビア	⁸ _____ ・ _____ ・ _____
伊(15-) ・ 米 ・ 中国(17-) など27か国	の4か国のみ。伊は最初、中立。

②英の秘密外交。

15 ロンドン密約：領土奪回を条件に⁹ _____ が三国同盟を離脱、奥に宣戦。

15 ¹⁰ _____ 協定：戦後の独立を条件に¹¹ _____ 人がオスマンに反乱。

16 ¹² _____ 協定：英・仏・露がオスマン領を分割（⇒ フ協定と矛盾）

17 ¹³ _____ 宣言：戦後のパレスティナに¹⁴ _____ 人の建国を約束。

17 ¹⁵ _____ 自治の約束：150万人をトルコ戦線に動員（⇒ 戦後、約束は無視）

③総力戦：戦線の固定化、戦争の長期化、新兵器の開発競争（飛行機・潜水艦・戦車）

Total War ⇒ 国家の総生産力が勝敗を決定する。同盟国側は、次第に不利となる。

15 ¹⁶ _____ 号事件：独の潜水艦が英の客船を撃沈、米人乗客多数が犠牲に。

⇒ 対独世論が硬化するが、米(ウィルソン政権)は中立を維持する。

16 ¹⁷ _____ 要塞の攻防戦：仏軍のペタン将軍が死守。西部戦線最大の激戦。

16 ¹⁸ _____ の戦い：北仏で連合軍が攻勢。英軍がはじめて戦車を使用。

17- 英・仏側が不利。戦債貸倒れの危険。⇒ 17 ロシア革命⇒ ソヴィエト政権成立。

⇒ 最大の中立国²¹ _____ が独に宣戦。 ⇒ 『平和に関する布告』で3原則発表。

(独の²² _____ 作戦を口実) (¹⁹ _____ ・ _____)

18. 1月 米大統領²³ _____ が、

『²⁴ _____ の平和原則』を発表。

²⁵ _____ の禁止、²⁶ _____ の自由、

²⁷ _____ 障壁の撤廃、軍縮、民族自決、

植民地問題の解決、国際平和機構の設立。

⇒ 戦線離脱。連合国の秘密外交を暴露。

18. 3月 ²⁰ _____ 条約

：ソヴィエトと独・奥との単独講和。

(⇒ 独の敗戦で無効になる)

18. 9月 ブルガリア降伏⇒ 10月 オスマン降伏。

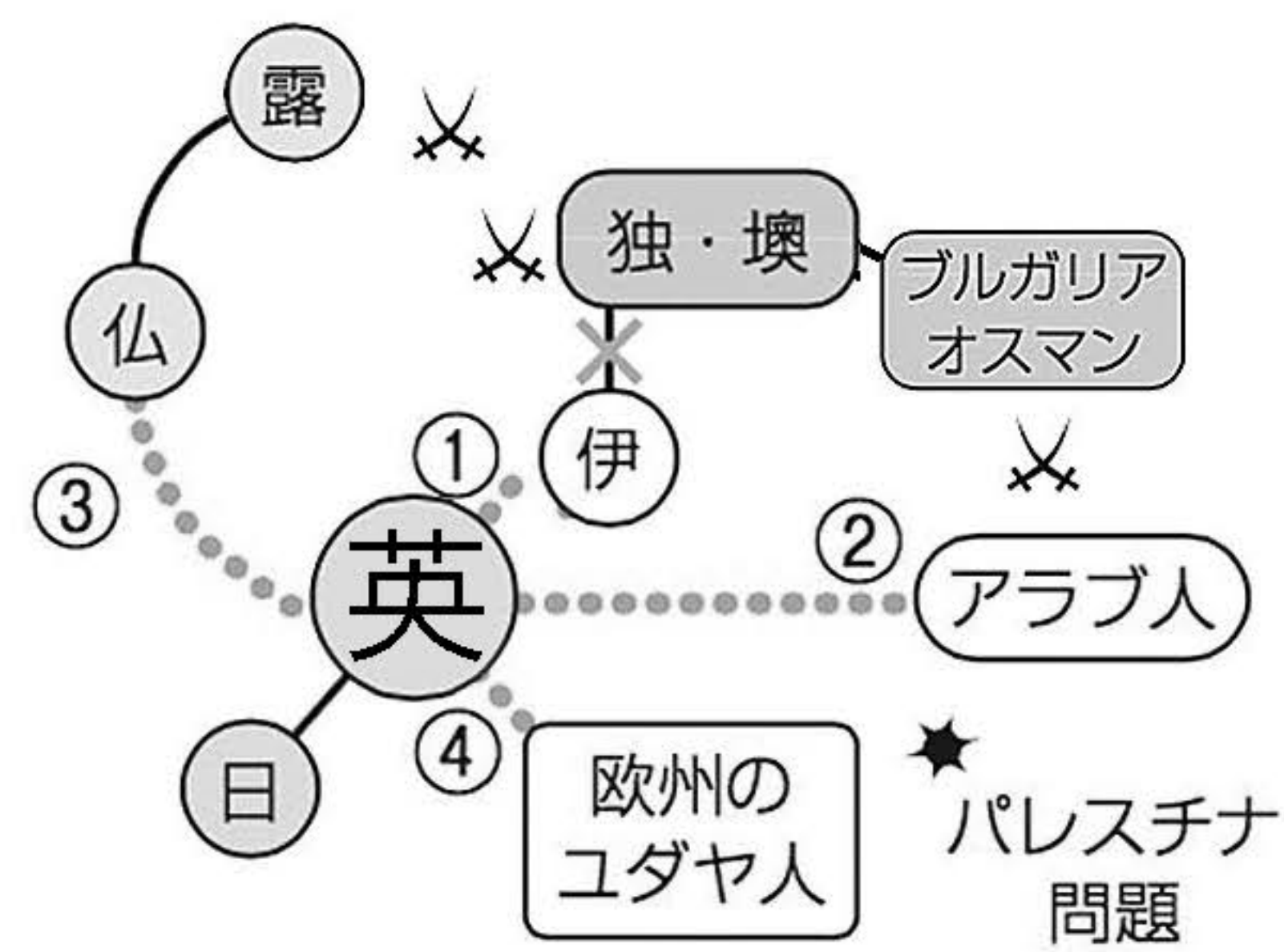
⇒ 奥・ハンガリー帝国崩壊⇒ 11月 奥降伏。

18. 8月 米軍が西部戦線到着⇒ 独軍退却。

18. 11月 ²⁸ _____ の水兵反乱：ドイツ革命。皇帝ヴィルヘルム2世は亡命。

⇒ 社会民主党のシャイデマン、エーベルトが臨時政府を樹立⇒ 休戦条約に調印。

第一次世界大戦 [1] 1914-17



バルカン戦争から第一次世界大戦までの経緯について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。
ブルガリア ポスニア



▲ 西部戦線の塹壕



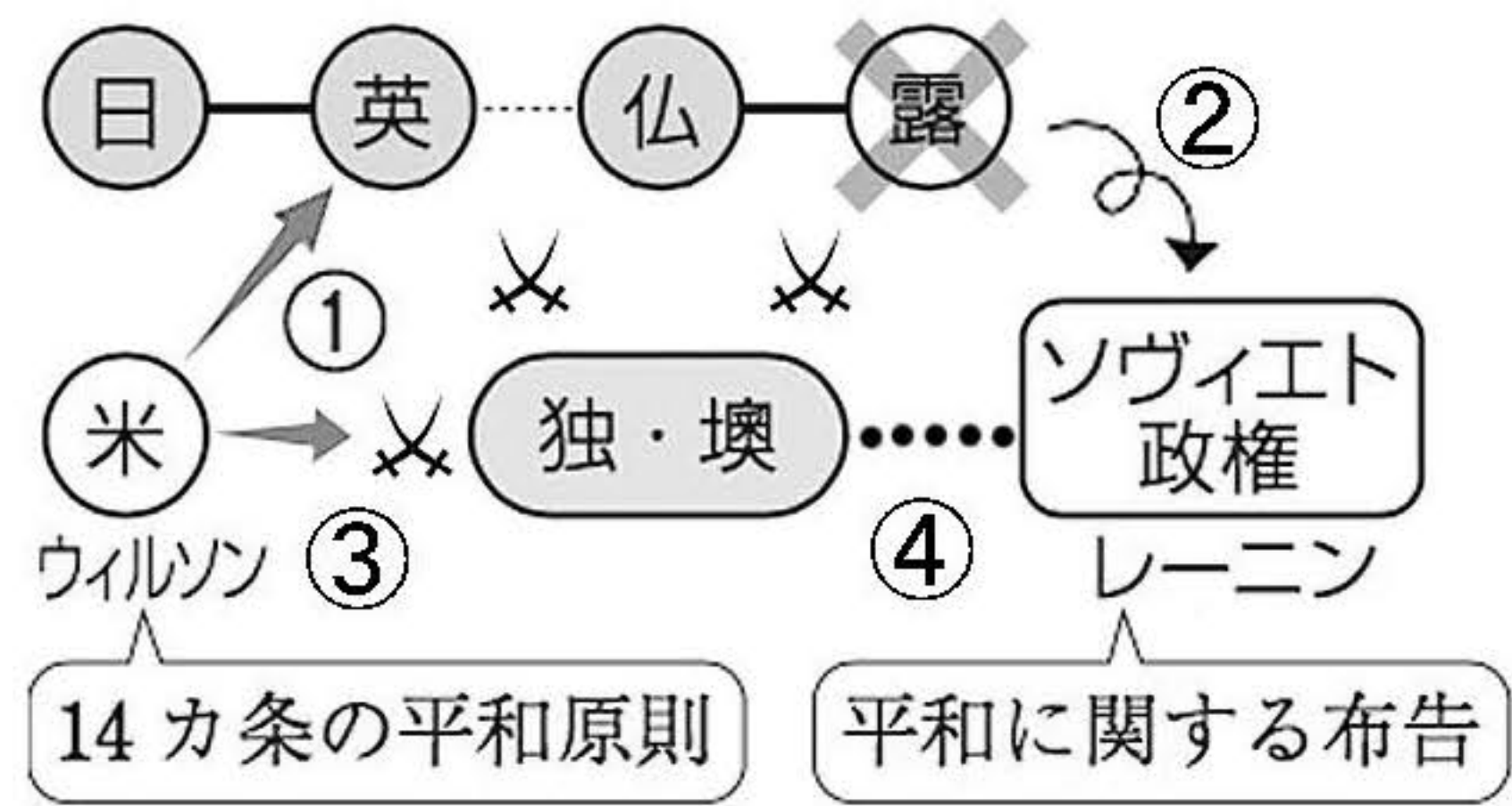
▲ ルシタニア号の撃沈

- ① ロンドン秘密条約(1915)
② _____ 協定(1915)
③ _____ 協定(1916)
④ _____ 宣言(1917)

(解答) ② フサイン・マクマホン
③ サイクス・ピコ
④ バルフォア

第一次世界大戦中の英の秘密外交について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。
トリエステ アラブ サイクス

第一次世界大戦 [2] 1917-18



- ① 連合国に軍需物資を輸出。
⇒ _____ を引き受け
② _____ (1917. 3月～11月)
③ 米国の参戦(1917. 4月)
④ _____ 条約(1918. 3月)

(解答) ① 戦債 ② ロシア革命
④ ブレスト=リトフスク

第一次世界大戦に対する米国の方針の変化について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。
モンロー主義 戦債 潜水艦

第一次大戦前夜

- 1 バグダード
2 エジプト
3 モロッコ
4 アフガニスタン
5 イラン
6 タンジール
7 アルヘシラス
8 アガディール
9 青年トルコ
10 パン=スラヴ
11 ブルガリア
12 パン=ゲルマン
13 ボスニア
・ヘルツェゴヴィナ

- 14 セルビア
15 トリポリ・キレナイカ
16 セルビア
・モンテネグロ
・ブルガリア
・ギリシア
17 オスマン帝国
(トルコ)
18 ハーグ万国平和
19 ニコライ2世
20 ロマン=ロラン
21 第2インターナ
ショナル

第一次世界大戦

- 1 サライエヴォ
(サラエボ)
2 セルビア
3 ベルギー
4 英・日
5 タンネンベルク
6 マルヌ
7 露・仏・英・日
8 独・墺・トルコ
・ブルガリア
9 イタリア
10 フサイン・マクマホン
(フサイン・マクマホン)
11 アラブ

- 12 サイクス・ピコ
13 バルフォア
14 ユダヤ 15 インド
16 ルシタニア
17 ヴェルダン
18 ソンム
19 無併合・無賠償
・民族自決
20 ブレスト=リトフスク
21 アメリカ
22 無制限潜水艦
23 ウィルソン
24 14カ条
25 秘密外交
26 海洋 27 関税
28 キール軍港

第一次大戦時の欧州



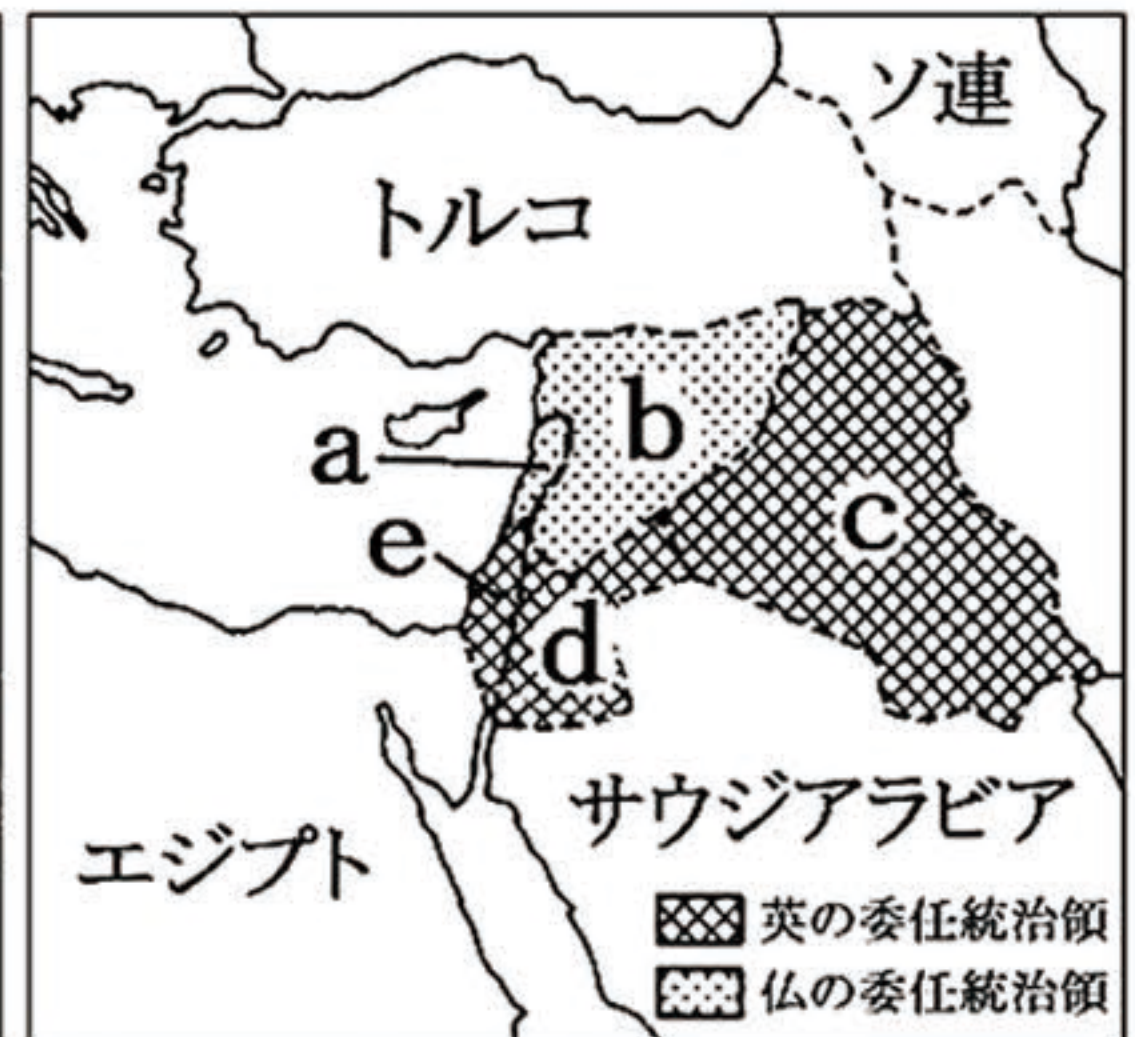
オスマン帝国の分割



① 第一次大戦の開戦時(1914)



② サイクス・ピコ協定(1916)



③ ローザンヌ条約(1923)

a レバノン b シリア c イラク
d トランスヨルダン e パレスチナ

(史料1) 1 協定(1915)
イギリスは…メッカの太守によって要求されている範囲内で、すべての地域におけるアラブ人の独立を認め、これを支援する用意がある。…アラブ側は、イギリスだけに助言と指導を仰ぐ。

(史料2) 2 協定(1916)
1. 英・仏は、アラブ首長の宗主権のもとに…アラブ国家あるいはアラブ連合国家を承認し、保護する用意がある。A地域については仏が、B地域については英が、事業および投資の優先権を有す。
2. 青色地域については仏が、赤色地域については英が…直接的、間接的な統治および管理を行う。
3. 茶色地域については、国際管理が行われる。

(史料3) 2 宣言(1917)
国王陛下の政府は、パレスチナにおけるユダヤ人の民族的故郷(National Home)の設立を好ましく考えており、この目的の達成を円滑にするために、最善の努力を行うつもりです。貴下(注)がこの宣言を、シオニスト連盟にお知らせいただければ、光栄に存じます。(注) 英国シオニスト連盟会長W.ロスチャイルド

(解答) 1. フサイン・マクマホン
2. サイクス・ピコ 3. バルフォア



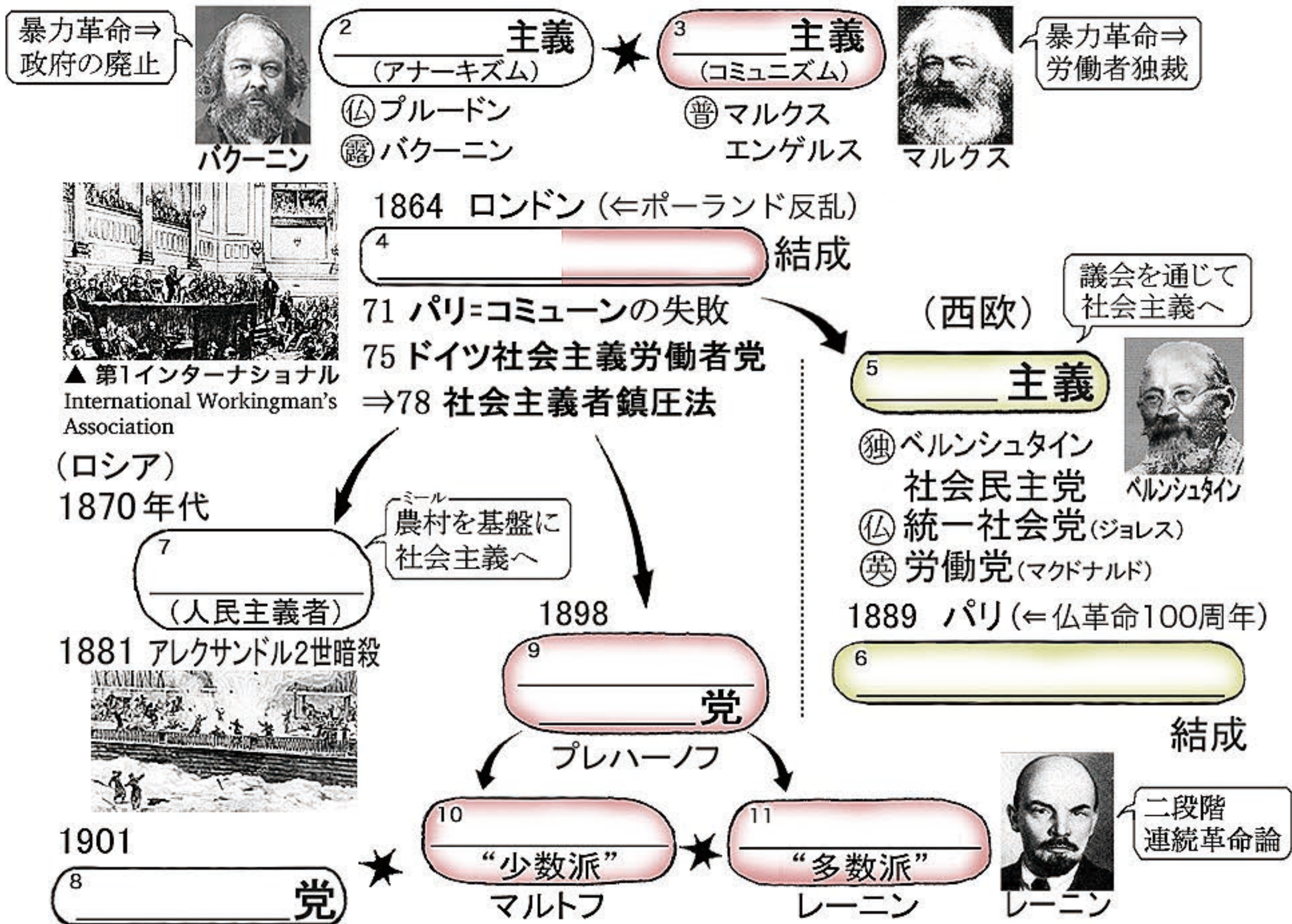
パーマストン

We have no eternal allies and we have no perpetual enemies. Our interest is eternal and perpetual.

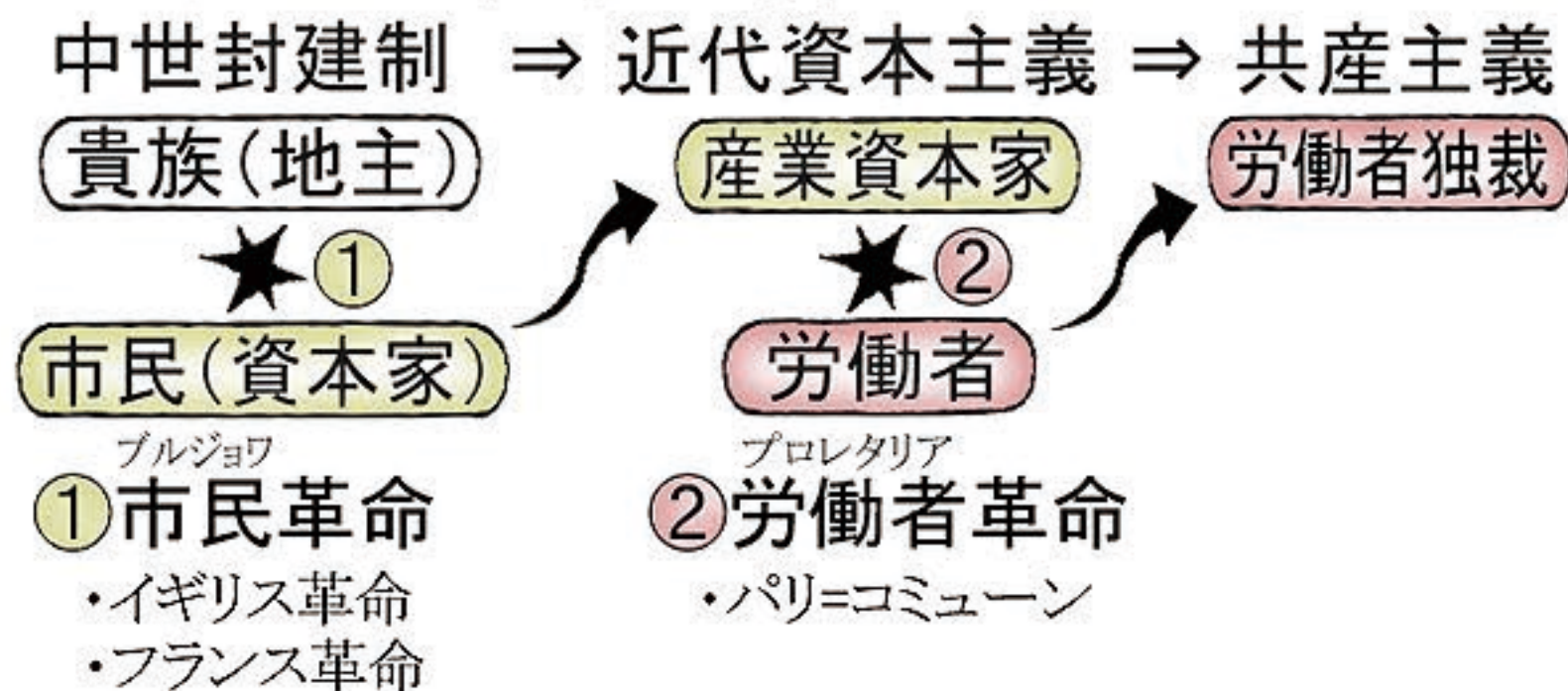
永遠の同盟国も、永遠の敵国もない。
あるのは永遠の利益/国益である。

社会主義思想の流れ

☆社会主義 = 1 _____ の公有化により、貧富の差を解消する。



マルクスの革命理論



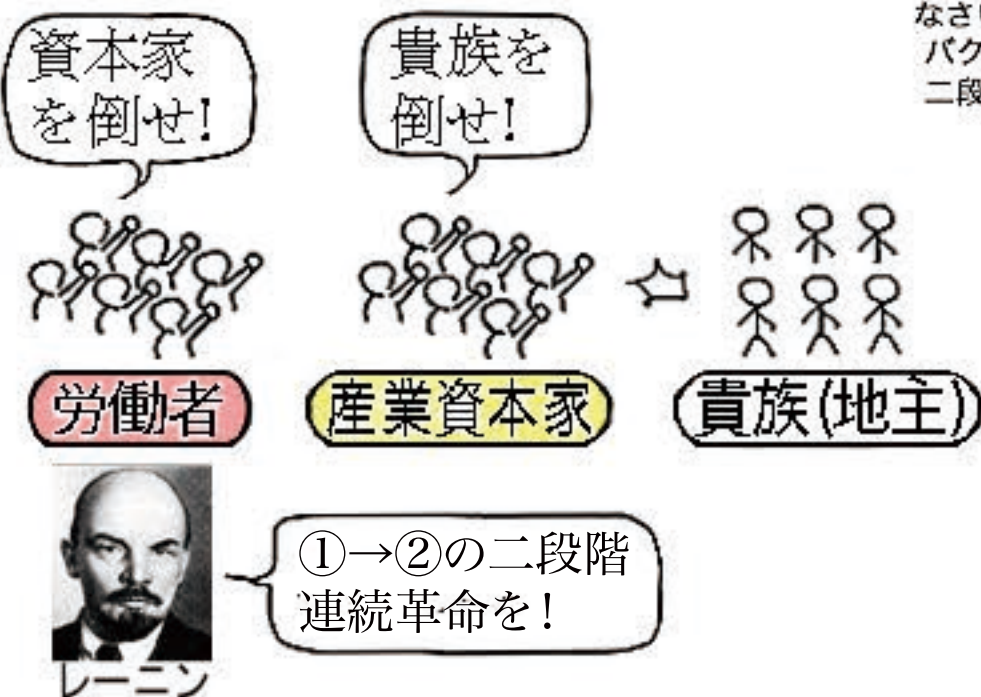
(解答)

- 1 生産手段
- 2 無政府
- 3 共産 (マルクス)
- 4 第1インターナショナル
- 5 修正
- 6 第2インターナショナル
- 7 ナロードニキ
- 8 社会革命
- 9 ロシア社会民主労働
- 10 メンシェヴィキ
- 11 ボリシェヴィキ

メンシェヴィキの考え



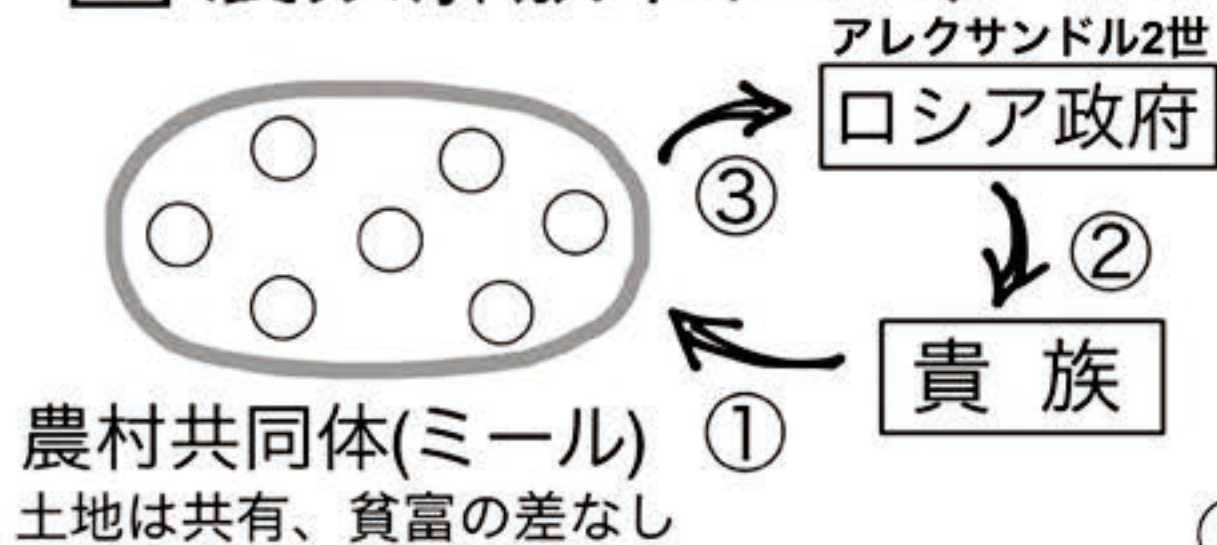
ボリシェヴィキの考え



ロシアにおける社会主義運動の展開について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。
バクーニン ミール 二段階連続革命論

ロシアの土地制度

① 農奴解放令(1861) ←クリミア戦争(1853-)の敗北



19世紀後半から帝政末期までのロシアの土地制度の変遷について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。
アレクサンドル2世
ストルイピン



▲レーピン「ヴォルガの船曳き」



▲アレクサンドル2世の農奴解放令(1861)

- ① 農奴に移動の自由。
有償で貴族の土地を分配。
② 補償金

- ③ 土地代金(49年払い)
⇒農村共同体(1)に土地所有権
⇒土地は共有、貧富の差なし

② ストルイピン改革(1906-) ←第一革命(1905)



ストルイピン

- ・社会革命党の基盤¹を解体。
・土地所有権は²。土地売買も自由。
⇒富農(クラーク)は政府に協力。
⇒貧農は土地を手放し、工場労働者に。

③ 共産党による改革(1917-) ←十月革命(1917)

- ・³で土地国有化。
・⁴(1918-)で食料徴発←対ソ干渉戦争
⇒ウクライナなどで大飢饉 ⇒クロンシュタットの反乱
・⁵/新経済政策(1921-)で市場経済を認める。
・五カ年計画(1928-)で再び統制経済に戻る。

ソヴィエト政権下のロシアにおける経済政策の変遷について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。
戦時共産主義 五ヶ年計画
土地に関する布告 ネップ

- (解答) 1 ミール 2 個人
3 土地に関する布告
4 戦時共産主義 5 ネップ

ロシア革命

- 1 アレクサンドル2世
2 ミール
3 ナロードニキ
4 社会革命
5 シベリア
6 ニコライ2世
7 ロシア社会民主労働
8 プレハーノフ
9 メンシェヴィキ
10 ボリシェヴィキ
11 レーニン
12 血の日曜日
13 ソヴィエト

14 ポチョムキン

- 15 十月
16 ヴィツテ
17 ドゥーマ
18 立憲民主
19 ストルイピン
20 二月
21 ペトログラード
22 ケレンスキー
23 四月テーゼ
24 十月
25 ブレスト=リトフスク
26 憲法制定
27 ロシア共産党

ソヴィエト連邦成立

- 1 対ソ干渉
2 英・仏・日・米
3 チェコスロヴァキア
4 赤軍
5 チェカ
6 コミンテルン
7 ポーランド
8 戦時共産主義
9 クロンシュタット
10 ネップ
11 ベラルーシ
・ウクライナ
・ザカフカース

12 ラパロ

- 13 ドイツ
14 トロツキー
15 世界革命
16 スターリン
17 一国社会主義
18 五カ年
19 世界恐慌
20 粛清

①革命前夜。

ロシア革命

・¹ : 農奴解放令(1861)。土地は有償で農村共同体=² へ。

☆³ : 人民主義者。² を基盤にロシア独自の社会主義を目指す。

1870年 ^{ヴニナロード} “人民の中へ”と唱え、農村で啓蒙活動を展開⇒農民の無関心、政府による弾圧で挫折。

1881 ¹ 暗殺 : ナロードニキ “人民の意思”派の爆弾テロ。

⇒ナロードニキは⁴ 党 (通称エス = エル) を結成(1901)。

・アレクサンドル3世 : 1891 露仏同盟⇒仏からの借款で⁵ 鉄道を建設。

・⁶ : 最後の皇帝(94-) 対日三国干渉⇒旅順・大連・東清鉄道を租借。

98- ⁷ 党 : “ロシア=マルクス主義の父”⁸ が組織。

⇒第1回党大会は警察に弾圧される⇒ロンドンの第2回党大会(03)で2派に分裂。

(⁹ : 資本家と協力して市民革命を目指す穏健派。マルトフが中心。

¹⁰ : 2段階連続革命と独裁を目指す急進派。¹¹ が指導。

②第一革命 : 日露戦争(04-) の敗戦と食糧危機で、戦争中止の声が高まる。

05.1月 ¹² 事件 : 首都で神父ガポン率いる平和請願デモに軍隊が発砲。

⇒全土でストライキ、暴動。労働者は各地で評議会 (¹³) を結成。

05.6月 ¹⁴ 号の反乱 : 黒海艦隊の水兵が反乱⇒9月 ポーツマス条約。

05.10月 ¹⁵ 宣言 : 首相¹⁶ が起草。皇帝が立憲君主政の導入を認める。

⇒国会 (¹⁷) 開設 : 資本家は¹⁸ 党 (カデット) を結成。

06- 首相¹⁹ の反動政治 : 革命派への徹底的弾圧。

10 ² 解体 : 土地の私有化で自作農を創設⇒ストルイピン暗殺(11)。

③1917年の革命 : 第一次世界大戦(14-) の長期化で、再び食糧危機。

17 露暦^{注2} ²⁰ 革命 (三月革命) : 首都^{注1} ²¹ の暴動⇒皇帝退位。

—17.3月- 臨時政府 : 国会で選出—

・首相リヴォフ (立憲民主党)

・首相²² (社会革命党) ★

⇒戦争続行を主張。英・仏の支持。

—17.3月- ¹³ (評議会)—

・レーニンが帰国。²³ 発表。

⇒帝国主義戦争反対、臨時政府不支持。

⇒敗戦続きで厭戦気分^{えんせん}高まる兵士が支持。

17 露暦²⁴ 革命 (十一月革命) : ボリシェヴィキが武装蜂起、臨時政府を倒す。

⇒人民委員会議=ソヴィエト政権が発足 : ボリシェヴィキと社会革命党左派。

・土地に関する布告 : 土地国有化。・平和に関する布告 : 無併合・無賠償・民族自決。

⇒連合国は黙殺⇒サイクス=ピコ協定を暴露⇒²⁵ 条約(18)で単独講和。

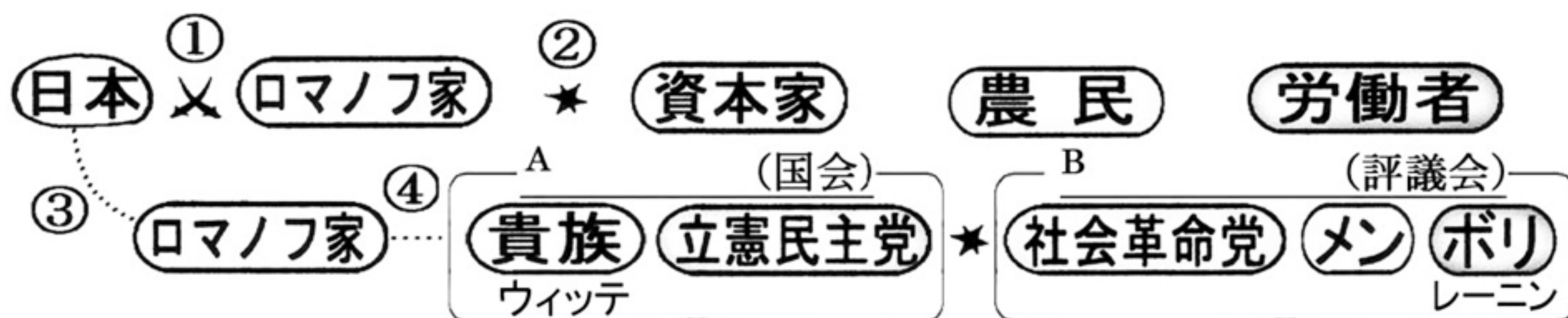
18.1月 ²⁶ 議会 : 最初の普通選挙で選出。⁴ 党が第1党に。

⇒ボリシェヴィキが武力で解散⇒ボリシェヴィキは²⁷ 党と改称、独裁。

注1 大戦中、ペテルブルク(独名)をペトログラード(露名)に改称。

注2 ロシア暦(ユリウス暦)は、グレゴリウス暦より13日遅れていた。

ロシア革命の流れ① 1905年の革命



- ① 戦争(1904-)
 ② 事件(1905.1)
 ③ 条約(1905.9)
 ④ 宣言(1905.10)
- 第一革命



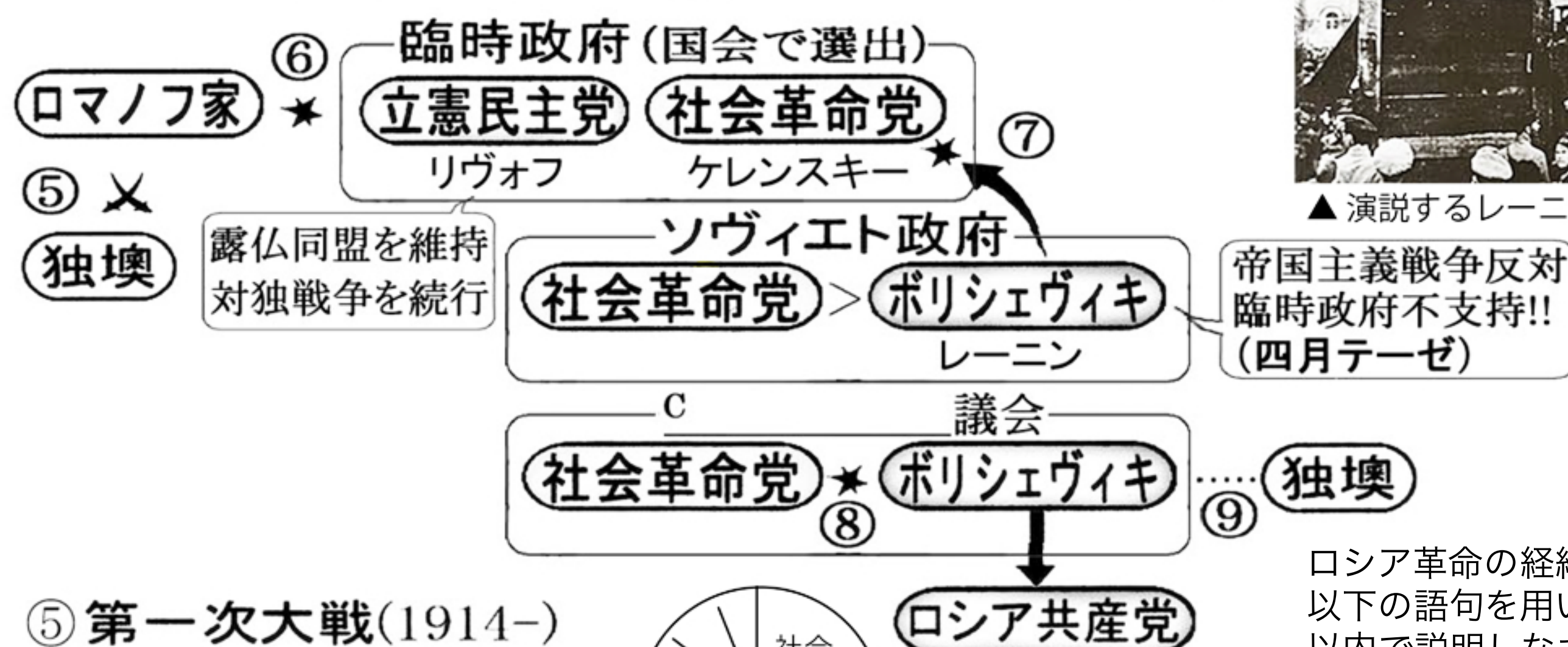
▲ 血の日曜日事件(1905)

ニコライ2世の十月宣言(1905.10)

わが帝国の両首都および多くの地方における争乱と動揺は、大きく思い悲しみとなってわが心を満たしている。…政府に対して、以下のわが意志の履行を課すものである。

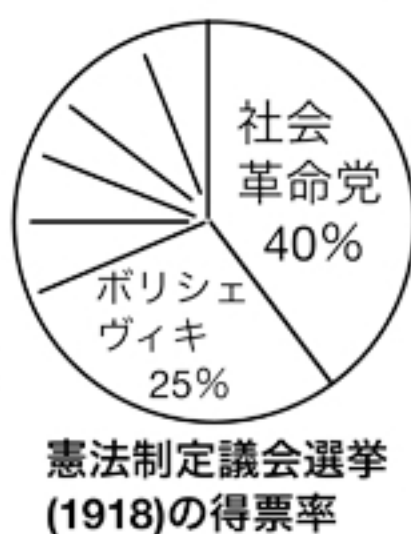
1. 人身の真の不可侵、良心・言論・集会・結社の自由の原則…を、住民に与えること。
2. 定められた国会選挙を中止せず、普通選挙の原則を認め、…選挙権を現在まったく失われている階級を、可能な限り国会に参加させること。

ロシア革命の流れ② 1917年の革命



▲ 演説するレーニン(1917)

- ⑤ 第一次大戦(1914-)
 ⑥ 革命(1917.3)
 ⑦ 革命(1917.11)
 ⑧ 社会革命党を弾圧
 ⑨ 条約(1918.1)



ロシア革命の経緯について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。
 十月宣言 四月テーゼ
 ケレンスキー 社会革命党

(解答)

- ① 日露 ② 血の日曜日 ③ ポーツマス
 ④ 十月 A ドゥーマ B ソヴィエト
 ⑥ 二月 ⑦ 十月 ⑨ ブレスト=リトフスク
 C 憲法制定

レーニンの四月テーゼ(1917)

1. リヴォフ一派の資本家的な政策のため、ロシアにとって現在の戦争は、依然として無条件に略奪的、帝国主義的戦争である。
2. 現在のロシアの情勢は、権力を資本家に渡してしまった革命の第一段階から、労働者と極貧

- 農民の手に権力を渡すべき第二段階への過渡期である。
3. 臨時政府を決して支持してはならない。臨時政府のすべての約束が、…まったく嘘であることを説明せよ。

ソヴィエト連邦の成立

・**レーニン**：人民委員会議長＝首相(17-24) 共産党独裁を確立。モスクワ遷都(19)。

1918-22 ¹ 戦争：連合国 (² . . .) が革命に干渉。

⇒ ³ 軍救出を名目に出兵、反革命軍（白衛軍）を支援。

☆⁴ : 革命軍。トロツキーが組織。

☆⁵ : 秘密警察 (⇒ GPU ⇒ KGB)。

19- ⁶ (第三インターナショナル)

: 各国共産党の指導機関。世界革命の本部。

⇒ ドイツ革命(スパルタクス団)、ハンガリー革命。

18- ⁸

・内戦勝利のため“すべてを戦線へ”

・全企業の国有化、労働義務制。

・食糧の強制徴発⇒生産意欲の喪失。

⇒ ウクライナで大飢饉、死者数百万人。

20-21 ソヴィエト = ⁷ 戦争

: 赤軍がはじめて敗退。世界革命は挫折。

⇒ 白ロシア西部・ウクライナ西部を奪われる。

22 ソヴィエト社会主義共和国連邦成立。

: ロシア・¹¹ .

. の4か国の連邦国家。

21 ⁹ の反乱

: 赤軍の水兵が共産党独裁に反抗。

21- ¹⁰ (新経済政策)

“資本主義への譲歩”で生産を回復。

・市場経済の復活、私企業の容認。

⇒ 経済再建に成功。富農クラークの出現。

☆ソ連の国際的承認：22 ¹² 条約で、敗戦国¹³ が最初に承認。

⇒ 英(マクドナルド労働党内閣)、伊、仏(24)⇒日本(25)⇒米(F.ローズヴェルト民主党政権)(33)

24 レーニンの死：共産党内で権力闘争がはじまる。

・¹⁴ : 赤軍司令官。西欧革命の支援を優先する¹⁵ 論。

・¹⁶ : 党書記長。ソ連一国で社会主義建設をする¹⁷ 論。

25 ¹⁴ 失脚：党を除名⇒国外追放(29)⇒メキシコで暗殺(40)。

☆¹⁸ 計画：一国社会主義のための計画経済。共産党が生産量を決定。

28- 第1次：農業国から工業国への大転換。

⇒ 農業の集団化 (コルホーズ・ソフホーズ) ← 影響なし

29- ¹⁹ 。

33- 第2次：重工業に加えて、軽工業も重視。

⇒ 工業生産高では、米に次ぐ世界第2位に。

31 満州事変：日本軍が侵攻。

33 独、ヒトラー政権。

34- ²⁰ : スターリンによる反対派の弾圧 ←

⇒ 秘密警察が数百万人を逮捕、シベリア流刑、処刑。

33 日・独が国際連盟を脱退。

34 国際連盟がソ連の加盟承認。

36 ¹⁶ 憲法制定：最高会議を設置。

⇒ 18歳以上の男女に参政権。一党独裁は変わらず。

35 コミンテルン、人民戦線を提唱。

⇒ 36- スペイン内乱。

38- 第3次：ウラル・シベリア地域の開発。

⇒ 大戦に備え、軍需産業も。独ソ戦争で中断 ←

36 日独防共協定：反ソ協定。

41- 独ソ戦争：独軍、モスクワ侵攻。

対ソ干渉戦争① 1918-



- 旧ロシア帝国
- ソヴィエト政権
- ➡ 連合国軍、反革命軍

対ソ干渉戦争② 1922



- ロシア帝国からの独立国
(ポーランドはベラルーシ西部を併合)
- ➡ ソヴィエト軍(赤軍)

ニコライ2世と皇太子アレクセイ



赤軍兵士を閲兵するトロツキー



抹殺されたトロツキー



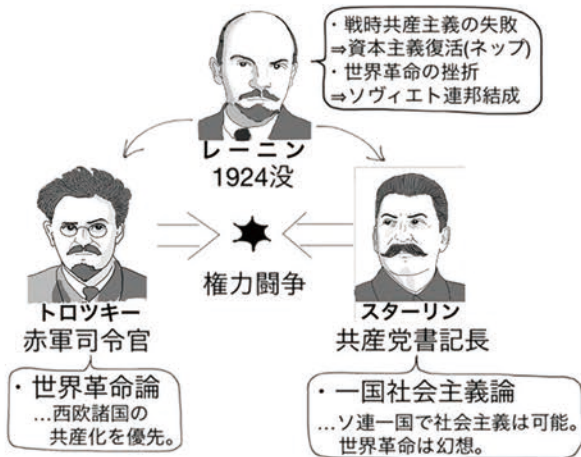
ウクライナ大飢饉(1921-22)



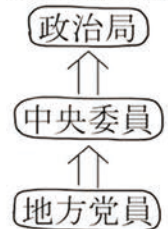
ソ連のポスター(1930年代)



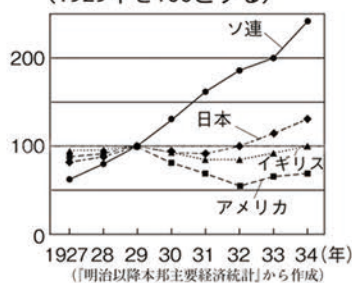
ソ連共産党の内紛



ソ連共産党



世界恐慌期の鉱工業生産指数 (1929年を100とする)



五カ年計画(1928-)

